

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 5月31日

都道府県知事
(市長) 大分県知事 殿

提出者

住 所 大分県津久見市大字上青江3748番地の1
氏 名 拓州建設株式会社
代表取締役 川上富博
電話番号 0972-82-1311



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	拓州建設株式会社
事業場の所在地	大分県津久見市大字上青江3748番地の1
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

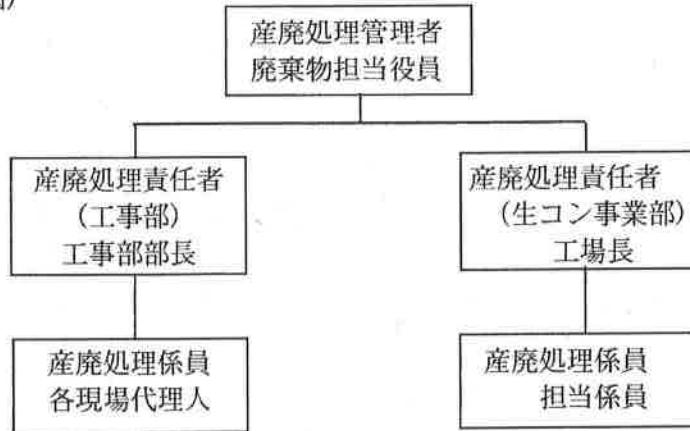
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業・製造業
②事業の規模	総合工事業 ¥581,000,000 製造業 ¥268,000,000
③従業員数	46人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	総合工事業 産業廃棄物発生→収集運搬→処分 製造業 コンクリート練り混ぜ→ミキサー車へ積込→工事現場へ運搬 →残コンクリート持帰り→生コンクリート分離 →セメント分脱水処理

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t		t
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t		t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 年度）実績】	
産業廃棄物の種類	
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
産業廃棄物の種類	
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 2023年度）実績】		別紙のとおり
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	
(これまでに実施した取組)		
【目標】		別紙のとおり
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

(第5面)

②計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
※事務処理欄	(今後実施する予定の取組)		

別紙1－1

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項										
(管理体制図)										
<pre> graph TD A[産廃処理管理者 廃棄物担当役員] --> B[産廃処理責任者 (工事部) 工事部部長] A --> C[産廃処理責任者 (生コン事業部) 工場長] B --> D[産廃処理係員 各現場代理人] C --> E[産廃処理係員 担当係員] </pre>										
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">【前年度（2023年度）実績】</th> </tr> <tr> <th>産業廃棄物の種類</th> <th>コンクリート・アスファルト</th> <th>生コンスラッジ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排 出 量</td> <td>1,887t</td> <td>1,007t</td> </tr> </tbody> </table>		【前年度（2023年度）実績】			産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト	生コンスラッジ	排 出 量	1,887t	1,007t
【前年度（2023年度）実績】										
産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト	生コンスラッジ								
排 出 量	1,887t	1,007t								
<p>① 現状</p> <p>(これまでに実施した取組) 受注産業であるため、これと言った取組み無し</p>										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">【目標】</th> </tr> <tr> <th>産業廃棄物の種類</th> <th>コンクリート・アスファルト</th> <th>生コンスラッジ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排 出 量</td> <td>1,793t</td> <td>772t</td> </tr> </tbody> </table>		【目標】			産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト	生コンスラッジ	排 出 量	1,793t	772t
【目標】										
産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト	生コンスラッジ								
排 出 量	1,793t	772t								
<p>②計画</p> <p>(今後実施する予定の取組) トロンメル（回収設備）の清掃を、2カ月に1回行い、細骨材（砂）の回収率を高める。</p>										
産業廃棄物の分別に関する事項										
<table border="1"> <tr> <td>①現状</td> <td>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがらの分別に粗さがある。</td> </tr> <tr> <td>②計画</td> <td>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがらを入念に分別し、再生利用料を増加させる。</td> </tr> </table>		①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがらの分別に粗さがある。	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがらを入念に分別し、再生利用料を増加させる。					
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがらの分別に粗さがある。									
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがらを入念に分別し、再生利用料を増加させる。									

別紙1-2

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（　～　年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（　2023 年度）実績】		
① 現状	産業廃棄物の種類	— 生コンスラッジ
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t 449 t
(これまでに実施した取組) 受注産業であるため、これと言った取組み無し。		
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	— 生コンスラッジ
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t 344 t
(今後実施する予定の取組) トロンメル（回収設備）の清掃を、2カ月に1回行い、細骨材（砂）の回収率を高める。		

別紙1-3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　～　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	一	一
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	一	一
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（　2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト	生コンスマラッジ
	全処理委託量	1,887 t	1,007 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,887 t	558 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) トロンメル（回収設備）の清掃回数を、増やし細骨材（砂）の回収率を高めた。			

別紙1-4

		【目標】	
		産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト
②計画		全処理委託量	1,793t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t
		再生利用業者への 処理委託量	1,793t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。 ・委託先処理業者には、定期的に現地確認を実施する。 			
※事務処理欄			

別紙2－1

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項				
(管理体制図)				
<pre> graph TD A[産廃処理管理者 廃棄物担当役員] --> B[産廃処理責任者 (工事部) 工事部部長] B --> C[産廃処理係員 各現場代理人] </pre>				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
① 現状	【前年度（2023年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類 廃プラスチック		
②計画	排 出 量	11t 1t		
	(これまでに実施した取組) 工法の改善。			
産業廃棄物の分別に関する事項	【目標】			
	産業廃棄物の種類	がれき類 廃プラスチック		
②計画	排 出 量	10t 1t		
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、下記の取り組みを実施予定。 ① 梱包材の簡素化。			
①現状				
(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物に混入しないように、保管を実施。				
②計画				
(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物に混入しないように確実に分別し、保管を実施する。				

別紙2-2

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（一 年度）実績】	
①現状		産業廃棄物の種類	—
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画		【目標】	
産業廃棄物の種類		—	—
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（一 年度）実績】	
①現状		産業廃棄物の種類	—
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画		【目標】	
産業廃棄物の種類		—	—
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		t	t
(今後実施する予定の取組)			

別紙2-3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　～　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（　2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	全処理委託量	11t	1t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	11t	1t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。			

別紙2-4

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
②計画		全処理委託量	10t	1t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	10t	1t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) • 可能な限り優良認定処理業者から選定する。 • 再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者 、熱回収業者へ処理委託する。 • 委託先処理業者には、定期的に現地確認を実施する。				
※事務処理欄				

別紙3－1

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（2023年度）実績】			
① 現状	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず
	排 出 量	48t	79t
(これまでに実施した取組) 工法の改善。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず
	排 出 量	46t	75t
(今後実施する予定の取組) 上記に加え、下記の取り組みを実施予定。 ① 梱包材の簡素化。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物に混入しないように、保管を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物に混入しないように確実に分別し、保管を実施する。

別紙3-2

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（一 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		t	t
(今後実施する予定の取組)			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（一 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		t	t
(今後実施する予定の取組)			

別紙3-3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（2022年度）実績】	
①現状		産業廃棄物の種類	—
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t	t
(これまでに実施した取組)			
		【目標】	
②計画		産業廃棄物の種類	—
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（2023年度）実績】	
① 現状		産業廃棄物の種類	金属くず ガラスくず及び陶磁器くず
全処理委託量		48t	79t
優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
再生利用業者への 処理委託量		48t	79t
認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。			

別紙3-4

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず
	全処理委託量	46t	75t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	46t	75t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
※事務処理欄	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者 、熱回収業者へ処理委託する。 ・委託先処理業者には、定期的に現地確認を実施する。		

別紙4-1

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
<pre> graph TD A[産廃処理管理者 廃棄物担当役員] --> B[産廃処理責任者 (工事部) 工事部部長] B --> C[産廃処理係員 各現場代理人] </pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
② 計画	排 出 量	69 t	2 t
	(これまでに実施した取組) 工法の改善。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
② 計画	排 出 量	66 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、下記の取り組みを実施予定。 ① 梱包材の簡素化。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物に混入しないように、保管を実施。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物に混入しないように確実に分別し、保管を実施する。		

別紙4-2

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（一 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
②計画	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（一 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
②計画	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
①現状	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

別紙4-3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　～　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（　2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	全処理委託量	69 t	2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	2 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	69 t	t
(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。			

別紙4-4

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
②計画		全処理委託量	66 t	2 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	2 t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	66 t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。 ・委託先処理業者には、定期的に現地確認を実施する。 				
※事務処理欄				